

女性・母親・会社員の視点から小平の“未来”を創造します！



竹井ようこ通信

小平市議会議員 竹井ようこ 会派 フォーラム小平

14・15合併号
(2018年1月発行)

竹井ようこ後援会
〒187-0041 小平市美園町1-1-15
TEL/FAX: 042-207-1232
E-mail: info@takeiyoko.com
公式HP: <http://takeiyoko.com/>

新しい年を迎えました。

2018年もこれまでと変わることなく、地道に、堅実に、市民の皆様のご意見を「聴く」ことを主軸に活動してまいります。

◆ 9月定例議会報告 ◆

一般質問において、以下3点質問しました。



1. 学童クラブを卒所した子どもたちの 長期休業における居場所について

<http://www.discussvision.net/kodairasi/2.html>

小平市の学童クラブは、小学校1年生から3年生までが対象です。

特に4年生～6年生の児童を持つ働く両親にとっては、夏休みなど長期休業期間は、子どもたちの日々の過ごし方について頭を悩ませる時期です。

子どもたちが安全に有意義に休業期間を過ごせるよう市の取り組みについて、以下質問しました。

【質問①】

児童福祉法では6年生までを対象とするようになっている。学童クラブ父母連絡会でも年齢制限撤廃要望が上がっているが市の考えは？

【回答①】

待機を出さないことを最優先に取り組んでいるが、現状において定員を超えている状況にあるので難しい。

市で実施した調査(需要アンケート)や他市の事例を参考に、現在定員数に達していない学童クラブから、受け入れを4年生以上に拡大していくという方策がとれるのではないかと提案しました。

市からは検討材料とするという答弁でした。

【質問②】

長期休業中だけでも4年生～6年生を受け入れることはできないか？また、一日・数日単位の「一次利用」を可能としてはどうか？

【回答②】

休業中や日単位限定のいずれも難しい。

新座市では夏休み期間だけ6年生まで受け入れています。また、大田区では1日単位の一時利用も行っています。

普段は子どもの下校時間に合わせて働く親も、夏休みだけ学童を利用したいというニーズもあります。一方、普段学童に通っている児童でも、夏休みは郷里に行くなど出席しないというケースもあることから、総合的に検討とすることで実施できると考えます。市からは併せて検討材料とするとの答弁でした。

長期休業中、子ども達が安全に過ごす場所としては、児童館(3館)、子ども広場(6カ所)、監視員を配置した校庭の遊び場開放などがあります。また、一部の学校では放課後子ども教室を実施しています。夏休みの居場所は私も二児の母として、頭を悩ませる問題の一つでした。10年経ってもなかなか変わらない課題ですが、引き続き要望していきます。

2. 不登校の子ども達の学びについて

文科省の調査結果によると、国内の小・中学校における不登校児童生徒数は増加しています(下表参照)。

国連の『持続可能な開発目標(SDGs)』では、「誰一人取り残さない」という公平性のアプローチが掲げられています。また、教育機会確保法でも不登校児童生徒の『休養の必要性』をふまえ、「状況に応じた学習活動が行われるよう必要な措置を講ずる」とあります。勉強したくても、人間関係や心身不調など様々な理由で学校に行けず、悩む子供たちを救っていくことは私たちの責務であるとも考え、教育委員会に質問しました。

データ

表 不登校児童生徒数の推移(平成24～28年度)

年 度	小学校			中学校			計		
	全児童数 (人)	不登校児童 数(人)	不登校児童 数の増減率	全生徒数 (人)	不登校生徒 数(人)	不登校生徒 数の増減率	全児童生徒数 (人)	不登校児童 生徒数(人)	不登校児童 生徒数の増 減率
24年度	6,764,619	21,243	▲6.1%	3,569,010	91,446	▲3.6%	10,333,629	112,689	▲4.1%
25年度	6,676,920	24,175	13.8%	3,552,455	95,442	4.4%	10,229,375	119,617	6.1%
26年度	6,600,006	25,864	7.0%	3,520,730	97,033	1.7%	10,120,736	122,897	2.7%
27年度	6,543,104	27,583	6.6%	3,481,839	98,408	1.4%	10,024,943	125,991	2.5%
28年度	6,491,834	31,151	12.9%	3,426,962	103,247	4.9%	9,918,796	134,398	6.7%

【質問①】

不登校の子ども達の学ぶ機会の確保は？

【回答①】

「あゆみ教室」(※1)を設置している。
また、中学校2校では不登校の生徒が教室
以外で学習できる場所を設置している。

※1 あゆみ教室とは…

学校に行きたいと思っていながらも、どうしても
行けないなど、不登校で悩んでいる児童や生徒を、
学校復帰に向けて支援する教育支援教室です。

小平元氣村おがわ東3階にあります。
(在籍者29名/平成29年9月現在)

【質問②】

平成17年度文科省の通知に「不登校児
童生徒がIT等を活用した学習活動を行った
場合出席扱いにできるとあるが、小平市で具
体的に行われていることは何か？

【回答②】

ここ何年かで行った例はない(※2)。

【質問③】

ICTを使った学習支援教室や自宅学習支
援は、多様な学びの確保につながると考える
が取り組みは？

※2 これまでは例がないが、様々な理由から
どうしても学校に通えなくても、市販の教材など
を使って学校と本人がしっかり話し合って目標を
持って学習することができれば、出席扱いにでき、
成果に反映できるという教育委員会の答弁で
した。特に受験を控えた児童・生徒にとっては、
大変有効であると考えます。

【回答③】

今後研究すべき分野と捉えている。

3. 高齢者、障害者への配慮をし 防災気象情報を迅速に届けるために

今年の夏もゲリラ豪雨が多く、8月の落雷による長
時間停電の際に、市民の皆様から、長時間にわたり、
情報が入らずに困ったという声を多く頂きました。

防災行政無線や広報車を使って状況を知らせるこ
とはできないか？

また、ホームページやツイッターなどを利用して、気象
庁からの情報を即時に発信することはできないか？
確認・提案しました。

市は、防災行政無線は特別警報や
避難勧告などに使うものであり、長時
間停電では使用しない。

広報車については、ケースバイケース
で対応する。

ホームページやツイッターによる情報
発信については、今後検討するとの答
弁でした。



子宮頸がん予防ワクチン 副反応被害に関する請願

全会一致で可決！

筆頭紹介議員として取り組んできた、以下2件の請願が12月議会で可決されました。

- ①HPV(子宮頸がん)ワクチン副反応被害者救済及び支援と接種者への健康調査を求めることについて
- ②副反応被害の問題解決を求める意見書の提出について

相談を受けた請願者の娘さんは、熱、倦怠感、痛み…寝たきりになるほど多くの症状に苦しまれてきました。HPVワクチンの副反応と医師が診断したのはつい一年半前です。請願者から、「ずっと体調が悪く、毎日一人で寝たきりだった娘が、請願を通して、『自分はひとりじゃないんだ』と明るく前向きになった。」とお聞きし、気持ちに少しでも寄り添えたことを本当に嬉しく思います。今後も実務的なことを含めてしっかりと見守っていきたいと思います。

12月定例議会報告

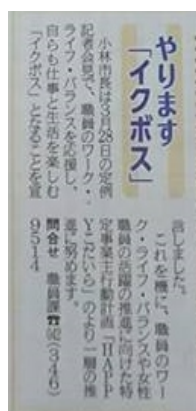
一般質問において、以下4点質問しました。

1. 市長のイクボス宣言を受けて意識改革や施策はどのように進んだか

市長や管理職が長時間労働を是正し、働き方改革を進めることは、職員のスキルを最大限に活かした市民サービスの向上に繋がると同時に、ひいては、市の企業に対しての啓発にもつながると考えます。

イクボス研修を行い、意識改革に努めているとの答弁。

小さな変革を積み重ね、水平展開することで、確実に改革して欲しいと要望。



市報こだいら
平成29年3月20日

2. 大混雑の期日前投票所の改善など投票環境の向上を図るべき

衆議院議員選挙(2017.10.22)前日の土曜日、期日前投票所(健康センター4F)は、投票待ちの行列が建物の外に続くほどの混雑ぶり。期日前投票の比率は毎回上昇しており、投票環境の改善は急務です。混雑緩和に向けた具体的な改善策を挙げて要望しました。また、期日前投票所(3カ所)の内、投票日前日(土曜日)は健康センター1カ所のみ。前日の投票所の増設も要望。併せて、東部市民センターは、西部に比べ約3倍投票者が多いことや金曜日の夜に需要があることなどのデータから適正な運用を要望。

3. 産前産後のケアの充実を小平市から進めよう

①妊婦健診において、東京都の公費負担額は全国で2番目に低いのが現状です。中でも超音波検査の回数は、厚生労働省が4回を推奨しているのに対し補助は1回のみ。小平市による上乗せ補助は難しいという答弁。

東京都に回数増を働きかけていくよう要請。

②新生児聴覚検査にかかる公費負担(現在なし)について、東京都で導入が検討されていることを確認。

③宿泊型や集団型の産後ケアを小平市で進められないかを提案。市としては、まず「ゆりかご・こだいら事業」における産前・産後サポートを着実に実施するとの答弁。

心身ともに不安定になりがちな母親や、育児にひとり悩む母親の居場所づくりに有効な産後ケアを引き続き求めていきます。

4. 子ども用車いすの認知度を高め、利用者がサポートを受けられるようにしていこう

子ども用車いすは、ベビーカーと間違えられることも多く、狭い場所ではたたむよう注意されたり、なぜ大きな子どもを乗せているのかと言われる・・・など、必要なサポートが受けられないという現状があります。一見、健康そうに見えても様々なものと戦っている子どもがいることを知ってもらい、大人の車いすと同様のサポートが受けられるようにしていきたいと考えます。

まずは、各公共施設にポスターを掲示するなど、認知度の向上から始め、公共施設の職員への研修等を通じ、サポートの重要性について意識啓発を図るよう要請しました。



子ども用車いす(mina family ホームページより)

活動記

7月～11月の主な活動(順不同)

【子育てナンバーワンのまちへ】

不妊治療勉強会、十四小運動会、十四小伝承あそび、一中70周年行事、十四小音楽祭、二小発表会、学童クラブ運動会、学童クラブ父母連絡会総会、二葉むさしがおか学園「被災地スタディツアー報告会」、青少年音楽祭

【ワークライフバランスが実現できるまちへ】

「保護者の立場で考える！教員の長時間労働」フォーラム

【高齢者、障がい者を孤独にしないまちへ】

熟年いきいき会講演会、認知症サポーター講座、みんなの家・リズム工房コンサート、あおぞら福祉センター納涼祭、サタデーひだまり、たいよう福祉センターまつり、高齢者大会、あすなろの家コンサート、KODAIRAわいわいバザー、福祉バザー、パラスポーツフェスタ、小障連懇談会、ガイドヘルプあい主催体験学習会

【ICTの活用で人と人をつなぐまちへ】

豊橋市役所ICT関連視察

【グローバル人材が育つまち、若者が活躍できるまちへ】

ハートピアTALK、Child Issue Seminar、市民懇談会（小学校英語について）、国際交流フェスティバル、国際協力ひろば

【防災、安心安全】

河川大会、防災訓練（国際交流協会）、一中花火教室、避難所運営ゲームHUG、消防団規律訓練、総合防災訓練、井戸の会講演会、自衛隊小平学校創立記念行事

【にぎわいのあるまちづくり、環境、その他】

行政視察（帯広市、池田市、釧路市、草津市、豊橋市、高浜市、習志野市、船橋市）、ワクチントーク、市民と議会の意見交換会、情報労連・NTT労組各本部大会、退職者の会各総会、市民活動ネットワーク交流会、あかりまつり、⇒

熊野宮のお祭りでは子ども用にアレンジされたポッチャ（パラリンピック競技の一種）が導入されました。



ごみ収集有料化、個別収集について

市では31年を目途に実施する計画です。
私も個別の説明会を計画中です。
お気軽にお問い合わせください。

info@takeiyoko.com

TEL/FAX: 042-207-1232



フェイスブックは「竹井ようこ」で検索！

竹井ようこホームページ

<http://takeiyoko.com/>

【にぎわいのあるまちづくり、環境、その他】

⇒戦没者追悼式、サダコと折り鶴ポスター展、ピースアクション、環境フェスティバル、小平市表彰式、政策制度要求討論会、えんとつフェスティバル、スポーツデイ、市民まつり、井出英策教授講演会、都市計画審議会、収穫祭、シニアソフトボール大会、鈴木公民館まつり、小川公民館まつり、みんなデパート、小平市環境学習講座、中央公民館サークルフェア、「フラッとNAVI小平にこないか」レポーター養成講座、サマーフェスティバル、平和のための戦争展、自衛隊小平駐屯地納涼祭、多摩済生園納涼祭、産業まつり

<選挙応援>

衆議院議員選挙 末松義規候補応援（当選）

報告

市民の皆様からのご要望で改善！

日々の地域活動では様々なご要望をいただきます。
行政と交渉し、実現しました。

- ①交通看板設置
- ②道路やマンホール蓋の修繕
- ③市の規定外に出来た“巨大”スズメバチの巣の撤去……など



竹井ようこプロフィール

小平市仲町在住

【略歴】

1966年 1月28日 滋賀県生まれ 名古屋育ち
名古屋市立菊里高校卒業

南山大学外国語学部英米科卒業

1988年 4月 日本電信電話(株)入社
国際部などで業務経験を積む

1991年 4月 (株)情報通信総合研究所出向
Didier & Associates法律事務所(ベルギー)派遣
欧州各国での情報通信政策について調査・分析

1994年 6月～98年 9月 出産・育児のため休業等
職場復帰後は育児に仕事に多忙な日々を過ごす

1999年 7月 NTTコミュニケーションズ(株)

情報通信の最前線で企画・法務等の業務に従事

2015年 4月 小平市議会議員選挙にて初当選

家族：夫、長男（大学生）、長女（大学生）柴犬（♀）

所属委員会等

総務常任委員会

広聴広報特別委員会（副委員長）

公共施設マネジメント調査特別委員会

湖南衛生組合議会（議長）

